

まだまだ長い道のりだけに、一步一步、ゆっくりと…

今日の大震災から1年目を前に、先に当 HP 記事「津波でビル屋上に持ち上げられたバス、撤去とか（HP「雑学 BN」の随想等関係（IX）、2012.02.08.：参照。）のバスが昨日降ろされた。

公民館ビルの屋上に押し上げられたこのバスは、津波の強大さと脅威を物語るものとして、日本中の誰もが一度はニュース等で目にしたことがあると思う。

数日前に、このバス会社のお母さんから次のようなメール（抜粋）が届いていた。

「震災後、心折れそうになると雄勝に行って心を奮い立たせていました。

それは、あのバスを見て、何もない事務所跡や自宅を見て、また、いつか絶対に！！と自分に言い聞かせていたんですね。

傷ついた我が子は、10日に130トンクレーンを使って、大切に降ろされます。有り難いことです。

運転手たちも当日は現場に立ち合い、主人は、テレビの取材を受けるようです。

ご苦労さんの気持ちを込めて、逢ってこようと思います。

この一年間、負けずにやってこられたのは、あなたがそこにいてくれたからと”ありがとう”を伝えたいと思います。」

撤去の日を迎えたご夫婦の心境は如何ばかりか…と思い、昨夕お母さんに「ニュースで見たよ」とメールしたところ、直ぐに次のように返信を下さった。

「誰もいなくなり、ひとり震災前のように凜々しくたたずむバスを見てありがとう！お疲れ様を伝えてきました。

なんとなく吹っ切れました。また、ゆっくりとメールしますね～」

自宅の再建、会社の復興にはまだまだ長い道のりだけに、一步一步、ゆっくりと歩を進めて欲しいと祈らずにはおれない。

何の具体的な支援もできず、自分の出来そうなことといえば、こうして時々声をかけて寄り添うことしかできないのが…。